
7097. 輸入CFS引取予定情報通知

業務コード	業務名
RCS01	輸入CFS引取予定情報通知

1. 業務概要

CFSから輸入貨物の引取りに先立ち、引取り側から引渡し側へ引取予定情報を通知する。
また、既に本業務により登録済の引取予定情報に対し、訂正を行う。

2. 入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、CY、NVOCC、海貨業

3. 制限事項

- ① B/L番号に対して本業務の通知可能回数は最大99回とする。
- ② 「輸入CFS引取確認情報通知 (RCTO1)」業務が実施された情報に対する訂正は不可とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ① システムに登録されている利用者であること。
- ② 訂正の場合は、登録時の利用者と同一であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック

入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ① 輸入貨物または仮陸揚貨物であること。
- ② 入力されたB/L番号が仕分親の場合は、「貨物情報仕分け (CHJ)」業務により登録された情報仕分親であること。

(4) 貨物引取DBチェック

訂正の場合は、以下のチェックを行う。

- ① 入力されたB/L番号及びID通知枝番に対する貨物引取DBが存在すること。
- ② 「輸入CFS引取確認情報通知 (RCTO1)」業務が行われていないこと。

(5) 貨物引取受付管理DBチェック

- ① 入力された通知先コードに対する貨物引取受付管理DBが存在すること。
- ② 入力された通知先コードに対して設定された受付時間内*1であること。

ただし、受付時間外に本業務を実施した際にエラーとせず、注意喚起メッセージを出力する旨が登録されている場合を除く。

(*1) 以下の①~②の条件を満たすことを受付時間内とし、条件を満たさないことを受付時間外とする。

- ① 当日対応可能表示が設定されていない場合 (搬出依頼の当日対応不可) は、以下の条件を全て満たすこと。
 - ・ 引取予定年月日が受付可能日*2であること。
 - ・ 引取予定年月日が業務実施当日でないこと。
 - ・ 引取予定年月日が翌受付可能日であり、UCT業務により搬出依頼受付終了時刻が設定されている場合は、本業務実施時刻が搬出依頼受付終了時刻よりも前であること。

② 当日対応可能表示が設定されている場合（搬出依頼の当日対応可能）は、以下の条件を全て満たすこと。

- ・引取予定年月日が受付可能日*2であること
- ・引取予定年月日が業務実施当日であり、UCT業務により搬出依頼受付終了時刻が設定されている場合は、本業務実施時刻が搬出依頼受付終了時刻よりも前であること

(*2) 受付可能日とは以下のとおり。(UCT業務による受付可能設定)

土曜日対応可能表示	日曜日・祝日対応可能表示	受付可能日
0:土曜日対応不可	0:日曜日、祝日対応不可	平日のみ受付可能
1:土曜日対応可能	0:日曜日、祝日対応不可	平日及び土曜日受付可能
0:土曜日対応不可	1:日曜日、祝日対応可能	平日及び日曜日・祝日受付可能
1:土曜日対応可能	1:日曜日、祝日対応可能	全日受付可能

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) ID通知枝番払出し処理

入力されたB/L番号に対するID通知枝番を払い出す。「01」～「99」まで

(3) 貨物情報DB処理

入力されたB/L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、本業務が行われた旨を登録する。

(4) 貨物引取DB処理

(A) 新規登録の場合

入力されたB/L番号及び払い出されたID通知枝番に対する貨物引取DBを作成する。

(B) 訂正の場合

入力されたB/L番号及びID通知枝番に対する貨物引取DBを入力された内容で更新する。

(5) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(6) 注意喚起メッセージ出力処理

下記の条件のいずれかを満たす場合に、注意喚起メッセージを出力する。

- ①通知先コードに入力された利用者が保税蔵置場またはCYの場合で、運送中の貨物が入力された。
- ②通知先コードに入力された利用者が保税蔵置場またはCYの場合で、蔵置中の貨物が入力された際に、当該貨物が蔵置されている保税地域を管理する利用者コードと入力された通知先コードが異なる。
- ③以下の条件を全て満たす場合。
 - ・通知先コードに対してUCT業務により受付終了時刻が登録されている。
 - ・UCT業務により受付時間外に本業務を実施した際にエラーとせず、注意喚起メッセージを出力する旨が登録されている。
 - ・受付時間外に本業務が実施された。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸入CFS引取予定登録通知情報	以下のいずれかを満たす場合 (1) 新規登録である (2) 訂正の場合で、通知先が訂正された	入力された通知先
輸入CFS引取予定訂正通知情報	訂正の場合で、通知先が訂正されていない	入力された通知先
輸入CFS引取予定削除通知情報	以下の条件をすべて満たす場合 (1) 訂正である (2) 通知先が訂正された	訂正前の通知先